

2025 年度事業実績

大学、短期大学では、学園の教育理念である「愛と奉仕」の精神を礎とする「Student First」をモットーに、「一人ひとり」そして「人と人との出会い」を大切にする学生本位の教育を進めるとともに、研究活動、地域連携活動等を推進しました。

1 教育方針

学生の満足度を高めるため、個々の学生に応じたきめ細かな学修支援を行いました。また、学生の向学意欲を喚起し、より高く幅広い知識を修得させるとともに、コミュニケーション能力を身に付ける教育を実践しました。

2 教育の充実

大学・大学院 740 名、短期大学 340 名の計 1,080 名の在学生(2025 年 5 月 1 日現在)に対して各学部学科の特性を活かして、多岐にわたる教育活動を行った。

(1) 大学

- ・ 総合人間学部言語文化学科では、イギリス、ニュージーランド、韓国、ベトナム、台湾、フィリピン、カナダでの留学や実習等に43名の学生が参加しました。また、語学検定受験を奨励し、TOEIC700点以上取得者を1名輩出したほか、留学生において日本語能力試験N1合格者1名、N2合格者4名を輩出しました。さらに、県内の大学で初めて「登録日本語教員養成機関」として文科省より認定され、日本語教育人材の養成に力を入れています。
- ・ ビジネス心理学科では、資格の取得を推進し、社会調査士2名、ビジネス能力検定3級22名、ビジネス能力検定2級21名、ピアヘルパー11名の取得となりました。また、企業研修型授業の内容をアップデートし、就職支援教育の推進に努めた結果、「企業協働型ラーニングⅡⅢ」では、履修者数が増え、提携企業のインターンシップ参加人数の上限を超えました。このため、「ビジネス心理セミナー」など学生が選択できるプログラムを増やして対応しました。
- ・ 地域マネジメント学部地域マネジメント学科では、地域の特産品を生かした商品開発として「おかやまプレミアムショコラ」の企画・開発に取り組んだほか、井原鉄道沿線における清掃活動を通じた地域美化・活性化プロジェクトなど、実践的な取組を行いました。これらの活動を含め、自治体や地域企業と連携したフィールドワークや地域課題に取り組む学修を展開しました。
- ・ 看護学部看護学科では、入学前教育や初年次教育の充実により、専門教育への円滑な移行を図るとともに、1年次から学生が目標を持って主体的に学修できる

環境を整え、計画的な国家試験対策に取り組み、合格率は、看護師は92.7%(前年度100%)、保健師91.7%(前年度100%)となりました。

- ・ 助産学専攻科では、1年課程の集中的な専門教育を通じて、豊かな人間性と幅広く確かな知識と技術を兼ね備えた、地域の母子保健を担う人材の育成に努めた結果、助産師国家試験合格率は100%となりました。

(2) 大学院

大学院看護学研究科では、大学院生全員が全国規模の学会でポスターもしくは口頭発表を行いました。

(3) 短期大学

- ・ 健康栄養学科では、栄養士としての専門性を重視した教育を推進し、栄養士実力認定試験において1名の学生が成績優良者に選ばれました。また、9名が栄養教諭二種免許を取得するとともに、2023年入学の3年コースでは2名が製菓衛生士の国家資格を取得しました。さらに、2026年4月のフードビジネスコースの開設を見据え、食をテーマとした商品開発や実践的な学修の充実を図り、社会に貢献できる人材の育成を進めました。
- ・ こども育成学科では、資格取得と実践的な学びを重視した教育を展開しました。「認定絵本士」では、資格取得希望者42名中39名が資格を取得し、取得率は92.9%となりました。「認定病児保育スペシャリスト」については、履修者15名のうち14名が資格を取得し、取得率は93.3%となりました。さらに、1年生全員に本学附属幼稚園での保育ボランティアを必修化したことで、保育アルバイトやボランティアへの参加が進み、実践的な学修成果が得られました。

3 学生募集活動の強化

- ・ オープンキャンパスを年間7回実施して募集活動の強化を図りました。また、各学科の取り組み等をPRする学科別リーフレットや「3つの支援制度」を紹介するリーフレットなどを作成し、高校訪問等で活用しました。
- ・ 高校との継続的な繋がりや信頼感を醸成するため、高校の探究学習、出張授業への講師の派遣など、高大連携を推進しました。
- ・ 高校生に本学の学びと魅力を体験してもらうため、夏休み期間中に「アカデミック・インターンシップ」を実施し、144名の参加がありました。

4 学生支援の強化

(1) 学生支援の強化

大学ではアドバイザー教員、短期大学ではクラス顧問教員が中心となり、学生一人

ひとりの授業理解度や学生生活の状況を把握し、きめ細かな指導を行いました。また、在学中の先輩学生による新入生サポート活動「学さぽ」を実施し、授業内容や履修登録の方法、学科の雰囲気など、入学直後に必要となる情報を提供しました。

(2) 就職支援の強化

令和7年度の就職状況では、東証上場企業や大学生人気企業、売上高100億円超企業への就職に加え、公務員として市役所職員や公立学校教員、保健師、公立病院看護師への就職など多様な進路実績を上げました。産業別では、卸売・小売業、製造業、金融・保険業、情報通信業、医療・福祉、教育分野など幅広い分野に就職しており、各学科の学びや専門性を活かした進路選択が進んでいます。特に地域に根差した企業や自治体への就職実績が高く、地域社会を支える人材の輩出につながりました。

5 地域連携の推進

- ・ 「こころとからだの健康戦略」をテーマに公開講座を2回開催、「幸せな社会を子どもたちに～子どもの居場所で見つけた幸せな生き方～」をテーマに公開講演会を1回開催しました。
- ・ 「Sanyo 子育て愛ねっと親子交流広場」として、「わくわくスタンプラリー」や「七夕まつり」を開催しました。
- ・ 地元平井学区との協働事業をはじめ、包括連携協定に基づく自治体・企業との連携事業、大学間連携事業、産学官連携事業など、計66件の取り組みを行いました。
- ・ 学生へ積極的にボランティア情報を提供し、延べ479人の学生がボランティア活動に参加しました。

6 施設整備

- ・ 教室の照明機器及び教育機器について、修繕が必要な個所の適宜更新を行うとともに、経年劣化に対応するため、本館・D棟エレベーターの改修工事を実施しました。

(主な整備内容)

教室機器設備更新	2,055千円
本館・D棟エレベーター改修工事（令和7年度事業）	1,036千円
B棟・C棟研究室空調修繕	2,549千円

7 山陽学園短期大学附属幼稚園

- ・ 大学キャンパス内の散策や園外の自然の中での遊び、山登りなどの自然体験に加え、野菜や花の栽培・収穫、クッキング体験等を通じた「心動かす直接体験」を計画的に実施し、園児の好奇心や探求心、豊かな感性を育みました。
- ・ 短期大学および大学看護学科の実習園として、教員との連携を図りながら学生の実習受け入れを行い、手洗い・歯磨き指導、花の苗植え等を通して、園児がさまざまな人と関わる経験を積む機会を提供しました。
- ・ 特色ある教育活動として、小学校新学習指導要領に位置づけられた英語学習を見据え、大学教員や外部講師と連携した英語活動を継続的に実施しました。また、大学・短期大学との連携による英語活動や健康指導のほか、地域や家庭と連携したお茶会、陶芸、餅つき、野菜栽培等の体験活動を通じて、心の通う人間関係の基盤を育み、コミュニケーション力の向上につなげました。

施設・設備

(主な整備内容)

防犯カメラ設置	870千円
保育室・廊下内装改修工事	1,712千円

2025年度事業計画 数値目標達成状況

【定員の確保】				
1	R8年度の入学定員充足率を大学93.6%(204人)、短大83.3%(150人)以上にする。	大学(2026年入学)	73.4 %	[84.4 %]
		短大(2026年入学)	77.3 %	[66.1 %]
2	志願者数を大学600人以上、短大200人以上にする。	大学(2026年入学)	214 人	[273 人]
		短大(2026年入学)	122 人	[126 人]
3	志願度の高い総合型選抜及び学校推薦型選抜による入学者を300人以上確保する。	(2026年入学)	246 人	[268 人]
4	山陽学園高校からの入学者を60人以上確保する。	(2026年入学)	43 人	[62 人]
5	社会人入学者を15人以上確保する。 ※委託訓練を含む	(2026年入学)	11 人	[7 人]
【教育の充実】				
6	中途退学者・除籍者の割合を3.0%以下にする。		2.8 %	[2.9 %]
7	学生による授業評価が3.9ポイント以上の授業の割合を95%以上とする。(専任教員の授業)	(前期)	96.7 %	[97.1 %]
		(後期)	94.6 %	[97.8 %]
8	対話型、問題発見・解決型授業の割合を70%以上とする。	(大学)	74.4 %	[72 %]
		(短大)	79.0 %	[80.1 %]
9	アンケート調査により、「教育内容について満足している」と回答する学生が70%以上になるようにする。		68.5 %	[69.2 %]
【資格取得の推進】				
10	看護師国家試験の合格率100%を達成する。		92.7 %	[100.0 %]
11	保健師国家試験の合格率100%を達成する。		91.7 %	[100.0 %]
12	助産師国家試験の合格率100%を達成する。		100.0 %	[100.0 %]
【希望する就職の実現】				
13	全ての学科で就職率を100%にする。 (言語100.0%、ビジネス100%、地域100%、看護100%、栄養100%、こども100%)		100.0 %	[100.0 %]
14	専門職への就職率を90%以上にする。[健康栄養学科]		64.4 %	[78.4 %]
	専門職への就職率を95%以上にする。[こども育成学科]		88.9 %	[90.9 %]
【研究活動の活性化】				
15	外部資金（科研費等）を15件以上獲得する。		13 件	[6 件]
			15,100 千円	[6,890 千円]
16	全ての教員が論文等の発表1件以上又は学会発表1回以上を行い、研究業績総数を140件以上とする。		32.1 %	[34.1 %]
			25 人	[28 人]
			60 件	[74 件]
17	論文（教育実践報告等を含む）の「山陽論叢」への掲載件数を18件以上とする。		8 件	[15 件]
	うち、学内研究補助金により行われた研究の報告論文の掲載件数を6件以上とする。		2 件	[6 件]
【地域連携・地域貢献の推進】				
18	学生のボランティア参加人数を延べ500人以上とする。		479 人	[380 人]
19	地域との連携事業を50件以上実施する。		66 件	[54 件]
20	社会人教育の受講者数（公開講座、公開講演会、文化セミナー）280人以上 ※文化セミナーは、大学・短大実施分		181 人	[249 人]
【その他】				
21	報道発表件数とそれを受けて実際に報道された件数を80件以上とする。		57 件	[69 件]
22	図書貸出冊数を学生一人当たり10冊以上とする。		4.7 冊	[4.2 冊]

※ [] は、2024年度実績